

北海道または船橋入厩 予定

生産 社台ファーム

繋養 社台ファーム

サクラバクシンオー
鹿 1989

サクラユタカオー

栗 1982

*テスコボーイ

Princely Gift

Suncourt

アンジェリカ

*ネヴァービート

スターハynes

*ノーザンデースト

Northern Dancer

Lady Victoria

*クリアアンバー

Ambiopoise

One Clear Call

Halo

Hail to Reason

Cosmah

Wishing Well

Understanding

Mountain Flower

Affirmed

Exclusive Native

Won't Tell You

Katonka

Minnesota Mac

Minnetonka(9)

メス・栗毛
2010年
2月4日ベルモット
栗 1997*サンデーサイレンス
Sunday Silence
青鹿 1986*レガシーオブストレングス
Legacy of Strength
栗 1982

FAMILY

母系

母の父 *サンデーサイレンス Sunday Silence は米国産、米年度代表馬、米9勝、ケンタッキー ダービー-G1。本邦チャンピオンサイアー。本邦BMSチャンピオン。【BMS:主な産駒】ローズキングダム(ジャパンC-G1)、アドマイヤムーン(ジャパンC-G1)、スクリーンヒーロー(ジャパンC-G1)、ヴァーミリアン(ジャパンCダート-G1)、レジネッタ(桜花賞-JPN1)

母 ベルモットは3勝、織姫賞(芝1800m)。産駒
トーセンロマネ(06 牡 栗 タニノギムレット)1勝、
レッドシュナイ特(08 牡 栗 *フレンチデピュティ)1勝、

祖母 *レガシーオブストレングス Legacy of Strength は米国産、米1勝。

産駒

スティンガー:最優秀2歳牝馬、7勝、阪神3歳牝馬S-JPN1、4歳牝馬特別(東)-JPN2、京王杯スプリングC-G2、同-JPN2、京都牝馬特別-JPN3、赤松賞、高松宮記念-JPN1 3着、阪神牝馬S-JPN2 3着、東京新聞杯-JPN3 3着、天皇賞(秋)-JPN1 4着、安田記念-JPN1 4着、オークス-JPN1 4着、毎日王冠-JPN2 4着、関屋記念-JPN3 5着

サイレントハビネス:4勝、4歳牝馬特別(東)-JPN2、ローズS-JPN2、ダービー卿チャレンジT-JPN3 2着、中山記念-JPN2 3着、エプソムC-JPN3 3着

アーバンティ:兵庫(公)4勝、中央5勝、オーシャンS-G3、韓国馬事会杯、相模湖特別、シルクロードS-G3 2着、オーロC-OP 2着、高松宮記念-G1 3着、京王杯スプリングC-G2 3着、
レガシーオブゼルド:4勝、葛蒲S-OP、立夏S、卯月S、京成杯3歳S-JPN2 2着、京王杯オータムH-JPN3 3着

ダイイチフローネ:4勝、松前特別、知床特別、東京スポーツ杯-OP 2着、札幌3歳S-JPN3 5着。産駒
フローテーション:2勝、萩S-OP、菊花賞-JPN1 2着、ステイヤーズS-JPN2 2着、スプリングS-JPN2 2着

サイレントレガシー:3勝、岡崎特別、長岡特別
リトミックダンス:1勝。産駒

フォーエバーマーク:3勝、クロッカスS-OP、からまつ賞、桜花賞-G1 5着、

ポイント

POINT

父の産駒によく見られるように、ボリューム満点の筋肉が全身を覆い、特にトモの周辺の発達ぶりが素晴らしく、スピード能力に秀でた印象です。いつも元気いっぱい前向きな性格には、2歳デビューから息の長い活躍を見せる仔が多い母系の特徴が出ています。近親や父系から考えれば、やはり短めの距離に適性がありそうで、一見すると芝のスピードタイプと想像されがちですが、父はダートでも確実に勝ち星を上げる仔を輩出しています。軽快かつ力強い脚捌きの本馬ならば、ダートでこそ脚力の違いでライバルを一気に突き放すというレースぶりを見せてくれるのではないのでしょうか。